

それはおかしい

今の家造りは完成したところを見せて契約させるから発注者は何の資材がどのように使われているかほとんど関心がない。だから、作り手側は自分の都合の良い資材で都合の良い工法で建てても文句を言わない。そして資材の加工は殆ど工場加工で行われるから工場の都合の良い資材で作られる。現場へ搬入されて上棟されてしまえばすぐに防塵シートがかけられその姿さえ見えにくくなる。足場が組まれ囲まれてしまうと建て主も「ああ、きちんと管理されているな」程度のこのしか見えないから何の疑いも持たない。いくら乾燥した資材を

使っていて現場でどのように扱われているかなど知らないのだからそれがどのようにに影響するのかはなおさら知らない。いつの時期でも平均して四日に一度は雨が降る国なのに現場を管理する側は予定通り工事を優先する。だからそのツケはみんな入居者に降りかかってくる。

MY OPINION 286



ひたちなか市馬渡
久保敏雄

7月の住宅セミナー

題名「失敗しない家づくり」

〈テーマ〉「資材の話」

■日時… 7月12日(日) 10時～12時
茨城木材相互市場内研修室
(水戸市渋井町50番地)

■料金…500円(税込)

お申し込みは  090-3148-9094

要予約